

2018アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [東浦町立藤江小学校] 担当教諭名 [作間 啓江・青木 誠也] (6年 69名)

相手国・地域 [台湾]

海外学校名 [Taiping Elementary School] 担当教諭名 [Sylvia Chen]

■実施教科・時間数について教えてください。

	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した 実施教科・時間数	総合的な学習の時間	世界の友達と国際交流 ～アートマイルを始めよう～	20
	外国語活動	英語の自己紹介カードを送ろう	2
	図工	台湾の学校と壁画を共同制作しよう	3

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	自分たちの国の文化を伝え合おう
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	自分たちの国や地域の歴史的・文化的遺産にはこんなにすばらしいものがあると互いに紹介し合い、相手の国をより深く知る。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> 夏休みの課題とした台湾についての調べ学習では、相手を知りたいという気持ちをもって、楽しんで取り組めた。 目的意識をもって、日本の歴史や文化について学習し、台湾の文化との相違点を知ることで、自国文化や台湾文化への理解を深めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> テレビ会議やスカイプが使用できず、常時接続できる教室のネット環境もないので、担当教師が中心のやりとりになり、児童が主体的に関わることはできなかった。 休み時間や授業後の時間も活動せねばならず、教員と児童の負担が大きかった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> 国によって学校の様子や文化や暮らしに違いがあることに気付いた。 自分の思いを相手に伝えるために、英語の力をもっと身につけたいと思うようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> 台湾と日本の文化の相違点を考えることにより、自国の歴史や文化に対する興味や理解がより深まるようになった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
出会い 自己紹介	9月 10月	<ul style="list-style-type: none"> 英語で書いた自己紹介の手紙を書き、台湾の学校に郵送した。 台湾からのお手紙の返事が到着し、フォーラムにアップされた。 	相手に自分のことを知らせたいという目的意識から、カードに書く内容を真剣に考え、相手のことを思いながら英文を書いていた。	学活2
共有 テーマ学習	5月 ～ 11月	<ul style="list-style-type: none"> 日本の歴史や文化遺産について調べ学習を進めた。 修学旅行の班別研修先を各自で決め、見学したことを英語で話した動画をフォーラムにアップした。 	研修先で撮った写真やもらった資料を活用しながら、見学してきたことを自分で調べた。見学先の写真や英語で書いたカードを持ちながら、英語で動画を作成した。	総合20
融合 想いを形に ・メッセージ ・壁画デザイン	11月 12月	<ul style="list-style-type: none"> フォーラムを通じてテーマを決定。 学校生活の様子や自国の文化遺産について写真や文で知らせた。 実行委員が下絵を募集し、学年で6点決定し、相手校に写真を送ってよいものを選んでもらった。 	全員の活動ではなく実行委員中心の活動となったため、授業時間ではなく休み時間や授業後に行った。相手校が選んだ下絵に、実行委員全員の意見を付け加え、納得のいく下絵を完成させることができた。	時間外
創造 壁画制作	12月 3月	<ul style="list-style-type: none"> テントシートに下描きをする。 着色をする。 完成した壁画の裏面に全員のサインを描き、卒業制作に充てた。 	時間を区切って数人ずつ取り組んだ。作品の裏面にサインを書き入れた。全員で仕上げた達成感がもてた。	図工3
評価 振り返り 自己評価	3月	<ul style="list-style-type: none"> 卒業式の式場で、ステージ上の卒業生背後の卒業式の看板下に飾った。 	総合の時間に、クラス内で作品を見て、これまでの活動内容をフォーラムを見ながら振り返り、児童達は喜んだ。	卒業式

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価（5:とてつみた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった）

学習目標・つきたい力	評価	先生が手応えを感じた場面・理由
自文化を理解する力	3	修学旅行と関連づけて学習を進め、歴史や文化遺産について理解を深めた。
異文化を理解する力	4	夏休み中や総合の時間に一人一人がテーマを決め、台湾についての調べ学習に取り組むことができた。
情報活用能力 (収集・まとめ・発信)	2	調べ学習の際に本やインターネットを利用することはできたが、フォーラムにアップするのは教師の活動となった。
コミュニケーション力 (双方向・共感・英語)	3	スカイプやテレビ電話ができないので、児童自身がリアルタイムで相手校の教師や児童と交流できていない。英語での手紙交換はできた。
批判的に思考する力 (客観的・批判的視点)	3	相手の文化や学校の様子を理解し、相違点を見つけたり考えたりすることで双方の文化への自分の考えを深めることができた。
主体的に考え行動する力	3	手紙の交換をしたり、相手校からの発信内容を廊下の掲示板で確認したりすることで、台湾に対して興味をもち異文化への理解を深めることができた。
他者と協働する力 (学級内・海外の相手)	4	壁画制作について、相手校と半分ずつ分担して一つの作品を仕上げる喜びを感じる事ができた。
想いを言葉や形にする力 (メッセージ作成・壁画デザイン)	4	下絵を学年に募集したことで、アートマイルに対する意欲を高め、実行委員で相手校の意見をもとに壁画を制作した。
評価する力 (作品の鑑賞・学習の自己評価)	3	卒業式の会場に飾り、児童や保護者全員で鑑賞し、活動を振り返ることができたが、意見の交流は十分ではなかった。